

毎月
発行

認知症に関する情報紙

オレンジ



ガイド

第20号
R5.11月

～認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して～



認知症初期集中支援チームの活動



↑
過去のオレンジガイドは
伯耆町ホームページや
こちらからも
見ることができます。

1. 認知症初期集中支援チームについて

■認知症初期集中支援チームとは

伯耆地域包括支援センターのスタッフ（保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員）、認知症サポート医など、医療・介護の専門職で構成しています。

認知症の症状があっても適切な医療や介護サービスに繋がっていない人や中断している人、または医療や介護サービスに繋がっているが認知症の症状が顕著で対応に苦慮している家族を対象に、おおむね6か月以内を目安に集中的に支援します。

■認知症初期集中支援チームの支援の流れ

認知症に関する相談を受ける

伯耆地域包括支援センター
の窓口や電話で相談を受け
ます。

チームのうち2名程度で訪問

チームスタッフが認知機能
や健康状態を確認し、困り
事・心配事をお聞きします。

チームによる支援

今後の対応を一緒に考えて
いきます。また、適切な医療
や介護サービスへ繋げてい
きます。

【相談窓口】

伯耆地域包括支援センター（伯耆町役場 健康対策課 生活相談室内） TEL0859-68-4632

（裏面に引き続き内容を掲載していますのでご覧ください。）

ためして脳トレ！

（問題）カタカナを並べ替えて単語を完成させましょう。

①イキウ

⑥ロコウシモト

②ロンメ

⑦ルパナイップ

③ヨトールグ

⑧レチーヨコト

④リーンパムク

⑨ンアボイラテ

⑤グニンレート

⑩ウヨシウヤシボ

思考力を
トレーニング！



※答えは裏面にあります。

いつでも脳トレ！

歌を歌おう！

歌詞を読んだり思い出したりすることで記憶力の向上につながります。
一人の時は思いっきり声を出して歌うと気持ちいいですよ(^o^)

2. 認知症サポート医について

認知症サポート医とは、認知症サポート医養成研修を修了した医師のことです。かかりつけ医への助言等の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センターと連携を推進します。

伯耆町の認知症サポート医は、『なかむら医院 仲村 広毅 院長』です。

認知症サポート医として、どんな活動をされていますか？



【認知症サポート医】
なかむら医院
仲村 広毅 院長

認知症サポート医として、伯耆町の「認知症初期集中支援チーム」や「もの忘れ相談会」で活動を行っています。

また、伯耆町の「もの忘れ検診」を当院でも行っています。

※今年度なかむら医院での「もの忘れ検診」の受付は終了しました。

活動を通して、どんなことを感じておられますか？



もの忘れなどの悩みを自分一人や家族だけで抱えたまま困っている人が多いという印象です。でも、もの忘れ検診やもの忘れ相談会などに自ら行ってみようと思う人が少ないように思います。そういう人たちが、もっと積極的に相談できる環境を作れたらと思っています。

伯耆町民へメッセージをお願いします。



認知機能の低下に自分では中々気づかないし、普段から見ている家族も気づきにくいものです。気付いたら認知症になっていたというケースもあるので、積極的にもの忘れ検診を受けましょう。数年で状態は変わらなくても、5～10年先には変わってくると思うので、できるだけ早く病院や行政に関わってもらう方が良くと思いますよ。いつでもご相談ください！

9月の『世界アルツハイマー月間』に、特設展示やイベントを行いました！

認知症に対する理解を深めてもらうことを目的に、9月中に溝口図書館、岸本図書館、パルプラスオン、大山リゾートウエルカムオフィス(伯耆町丸山)で推薦図書やパネルの特設展示を行いました。また、パルプラスオン、大山リゾートウエルカムオフィスではイベントも開催しました。

イベントの参加者から、『とてもいい取り組みだと思います』『日頃から脳を刺激できることを意識して生活していきたいと思います』と感想がありました。特に認知症予防にオススメの料理の試食会が好評で、『大変美味しかったです。レシピをいただいたので家でも作ってみます』と嬉しい声がありました。



【認知症や高齢者の相談窓口】伯耆地域包括支援センター TEL0859-68-4632

ためして 脳トレ！

の答え：①キウイ ②メロン ③ヨーグルト ④クリームパン ⑤トレーニング⑥トウモロコシ
⑦パイナップル ⑧チョコレート ⑨ボランティア ⑩ショウボウシャ